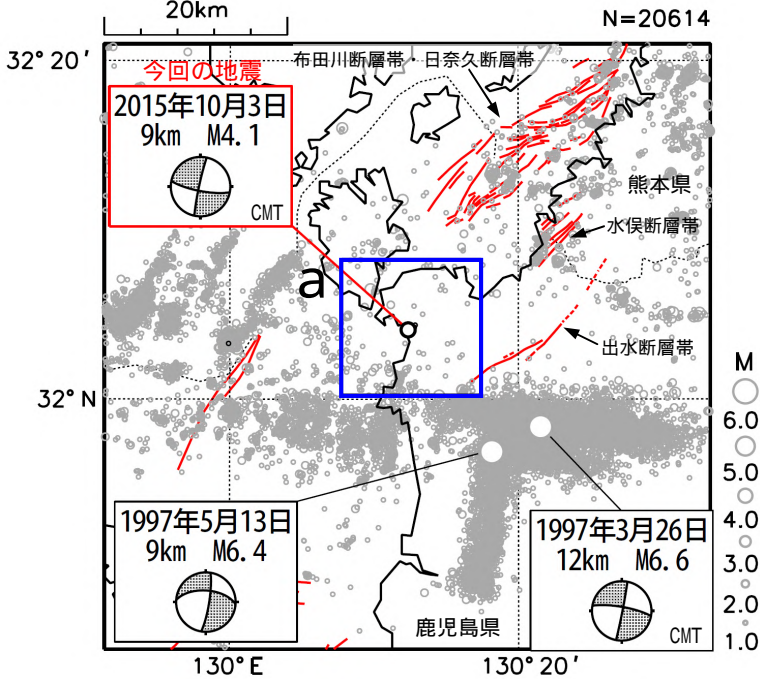


# 10月3日 鹿児島県薩摩地方の地震

震央分布図

(1997年1月1日～2015年10月3日、  
深さ0～20km、M 1.0)

2015年10月の地震を濃く表示



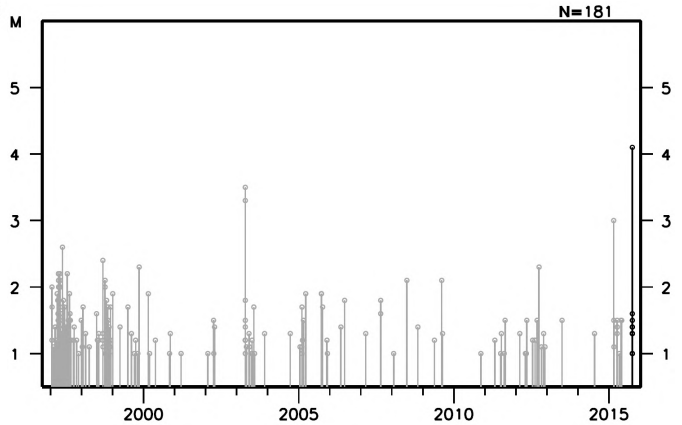
図中に表記した活断層は地震調査研究推進本部の長期評価による

2015年10月3日04時09分に鹿児島県薩摩地方の深さ9kmでM4.1の地震(最大震度4)が発生した。この地震は、地殻内で発生した。発震機構(CMT解)は、北西-南東方向に張力軸をもつ横ずれ断層型である。

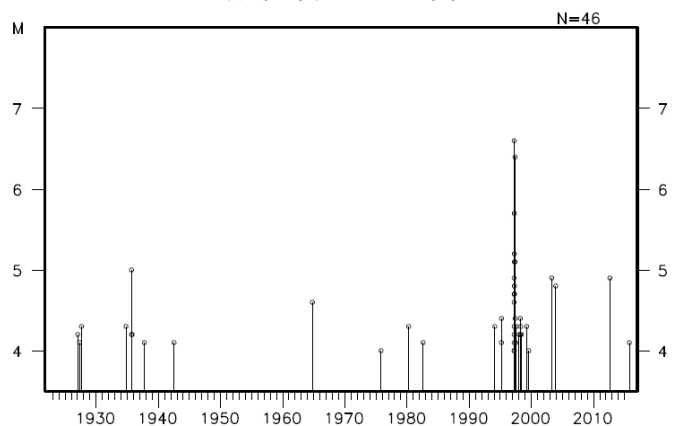
1997年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域a)では、M2.0以上の地震が時々発生していたがM4.0以上の地震は発生していなかった。

1923年1月以降の活動を見ると今回の地震の震央周辺(領域b)では、M6.0以上の地震が2回発生しており、1997年3月26日に発生したM6.6の地震(最大震度5強)では、重傷者2人、軽傷者24人、住家全壊4棟、半壊31棟、一部破損2180棟などの被害を生じた。また、同年5月13日に発生したM6.4の地震(最大震度6弱)では、重傷者1人、軽傷者42人、住家全壊4棟、半壊25棟、一部破損4818棟などの被害を生じた(被害は共に「日本被害地震総覧」による)。

領域a内のM-T図

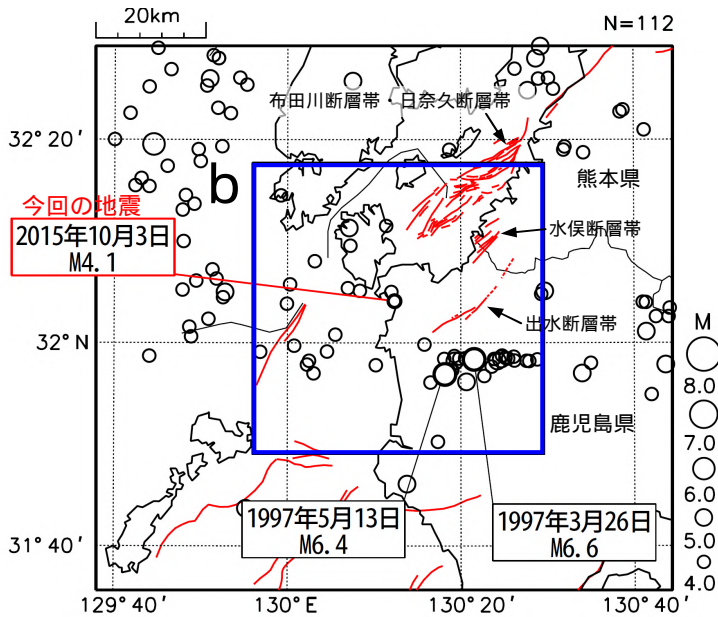


領域b内のM-T図



震央分布図

(1923年1月1日～2015年10月3日、  
深さ0～40km、M 4.0)



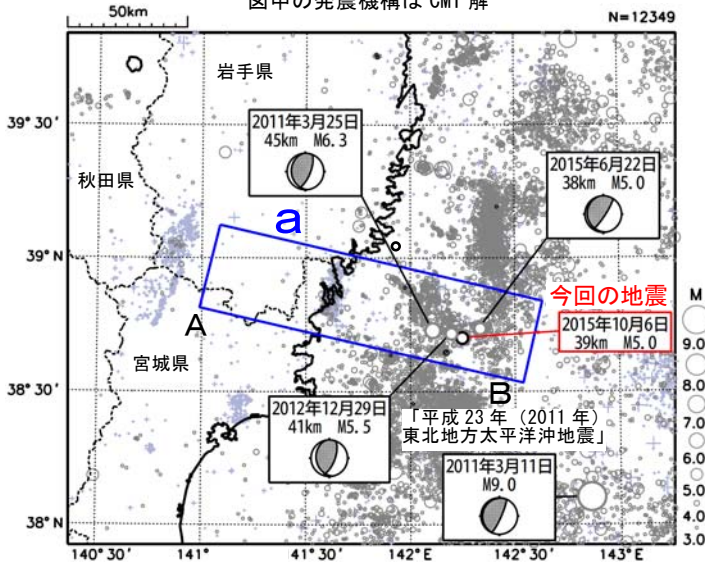
図中に表記した活断層は地震調査研究推進本部の長期評価による

# 10月6日 宮城県沖の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2015年10月6日、  
深さ0～100km、 $M \geq 3.0$ )

東北地方太平洋沖地震以前に発生した地震を+  
東北地方太平洋沖地震発生以降に発生した地震を薄い○  
2015年10月の地震を濃い○で表示  
図中の発震機構はCMT解

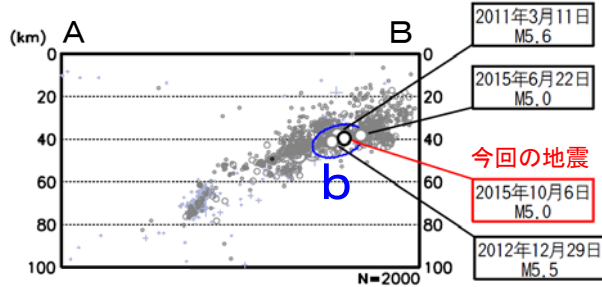


2015年10月6日18時32分に宮城県沖の深さ39km (太平洋プレートと陸のプレートの境界付近) でM5.0の地震 (最大震度3) が発生した。この地震の発生以降、ほぼ同じ場所で震度1以上の地震が同日中に3回発生した。

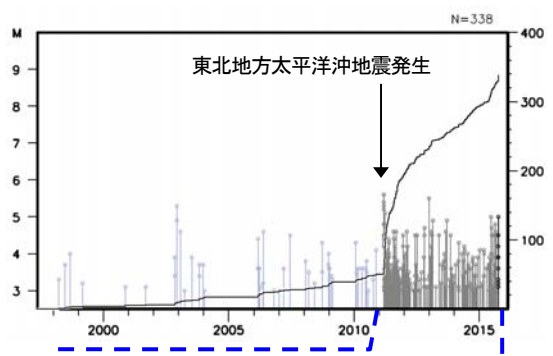
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、M4.0以上の地震が時々発生していたが、「平成23年 (2011年) 東北地方太平洋沖地震」発生後は地震活動が活発化し、M5.0前後の地震が発生している。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近 (領域c) では「平成23年 (2011年) 東北地方太平洋沖地震」発生以前からM7.0を超える地震が時々発生している。

領域a内の断面図 (A-B投影)



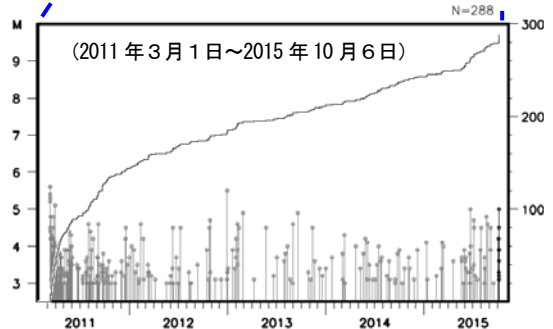
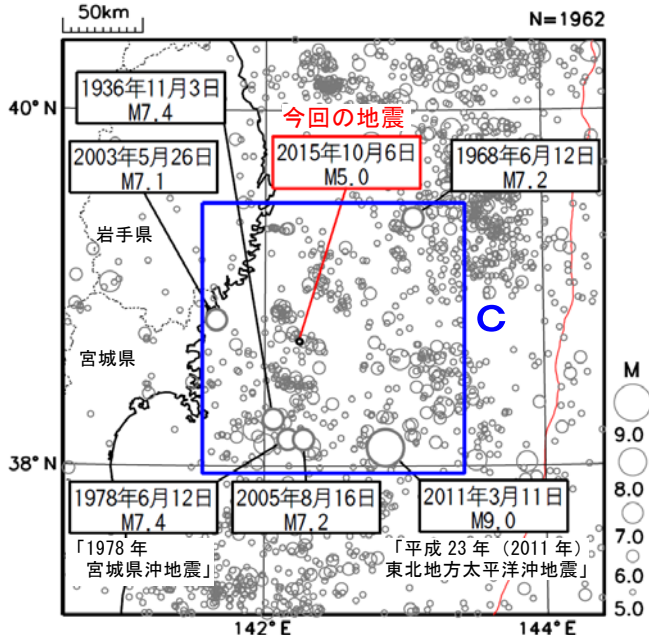
領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図

(1923年1月1日～2015年10月6日、  
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$ )

2011年3月11日以降の地震を濃く表示



領域c内のM-T図

